

所報

<Shoho>

川崎市総合教育センター

〒213-0001 川崎市高津区溝口 6-9-3

TEL 044-844-3600

代表メール 88csomu@city.kawasaki.jp

ホームページ https://kawasaki-edu.jp/

「子ども一人一人の可能性を引き出す授業」に向けて

川崎市総合教育センター 所長 **大野 恵美**



「子ども一人一人の可能性を引き出す授業」とは、どんな授業でしょうか。自分が受けてきた授業。そして行ってきた授業。それぞれから、考えるものがあるかと思っています。

ある授業の風景です。先生が発問すると何人かの子どもの手が挙がります。授業者は指名し、指名された子どもはそれに答えます。次の発問をすると、またそれに手が挙がり、指名された子どもがそれに答えます。しかし、ある子どものワークシートは白紙。ぼそっと「わからないよ」と呟きました。すると隣の席の子どもがそっと絵を描いて説明し始め、その隣の子どもも応援して説明を始めました。私の目の前では協働的な学びが繰り広げられていましたが、それとは別に授業が進んでいきました。

授業を終えた後の協議において、授業者は、「予定どおりには進みましたが、子ども一人一人の学びが深まったとは思えません。子どもの可能性を引き出すために、自分の授業スタイルをどう変えたらいいのか悩んでいます」と発言。この授業者の言葉を受けて、参観者から、どうしたらよかったのか、自分だったらどうするか等の意見が出て、研究協議は大いに盛り上がりました。

では、今後、「子ども一人一人の可能性を引き出す授業」をどのように考えていけばよいのでしょうか。

次の時代の教育、次期学習指導要領改訂に向けた中央教育審議会の答申のうち、令和3年1月の『令和の日本型学校教育』の構築を目指して』では、「各学校においては、教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で『個別最適な学び』の成果を『協働的な学び』に生かし、更にその成果を『個別最適な学び』に還元するなど、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要

である」と述べています。

この学びを下支えするものとしてGIGAスクール構想があります。

これまでは挙手して答えてもらわなければ

見えなかった子どもの意見が、端末に書き込むことで即座に可視化され、発言に苦手意識のある子どもの意見も難なく取り入れられ、スムーズに意見交流へつなげることができるようになりました。

また、それらを実現するためのカリキュラム・マネジメントも重要となります。各学校の地域や子どもたちの実態をもとに、ローカライズに教育課程を編成していく学校力はますます重要になります。

総合教育センターでは、昨年度リニューアルした川崎市学習状況調査において、子どもの学びの状況を4層で分析することを可能にするるとともに、毎年の実施から同一の子どもたちの経年変化を分析し、学力層別の傾向や状況をより詳しく把握して支援に生かすことができるようにしました。また、これまで紙ベースで返却していた結果をGIGA端末上で見るようにし、その他、学習や生活のポートフォリオ、体力・運動能力調査結果に関してもデータを参照しながら支援ができるよう、ダッシュボードを構築しました。この教育データの利活用においては、教員が活用するだけでなく、子ども一人一人が「分からなかったところを復習しよう」「得意なことをもっとやってみよう」など、自分で自分の学びの状況を把握し、自己調整して学習に臨めるようになることも目指しています。

「子ども一人一人の可能性を引き出す授業」の実現に向けて、4センターと総務室が一丸となって学校を支援していきたいと思っています。

令和6年度『所報』第1号 主な内容

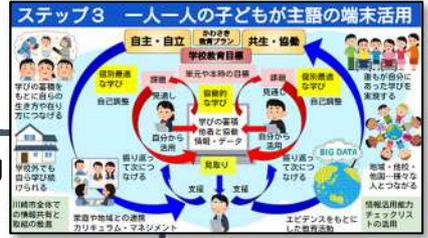
【巻頭言】

「子ども一人一人の可能性を引き出す授業」に向けて……………1	特別支援教育センター……………4
カリキュラムセンター……………2	教育相談センター……………5
情報・視聴覚センター……………3	研究推進校等一覧……………6

情報活用能力の育成を目指します

情報・視聴覚センター 事業・業務

「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」を基にした事務事業に取り組みます。



＜観点1＞
子どもたちの新しい学びを支える



↑掲載 web サイト二次元コード (上段：5分でわかる情報教育Q&A 下段：保護者向けインターネットガイド)

かわさき GIGA スクール構想^{※1}で導入された端末を効果的に活用し、児童生徒の情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するとともに各教科等で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をするための研究を進めていきます。

- 教育データの利活用の推進
- 授業における ICT 活用推進に向けた GSL 等の育成
- かわさき GIGA スクール構想推進のための研修の推進
- 「5分でわかる情報教育Q&A」^{※2}の活用等による情報モラル教育の充実・情報セキュリティの徹底
- 教育情報化推進モデル校、研究推進校、推進協力校、リーディングDXスクール指定校による教育の情報化及びかわさき GIGA スクール構想の推進
- 学習者用デジタル教科書、CBT 等の 1 人 1 台端末で利用するシステムの円滑な運用
- 「保護者向けインターネットガイド」^{※3}の作成・活用推進
- 川崎市立学校インターネット問題相談窓口の運営
- 長期研究員と研究員による研究「個別最適な学び（GIGA 端末活用）研究会議」

※1 かわさき GIGA スクール構想



※2 5分でわかる情報教育Q&A



※3 保護者向けインターネットガイド

＜観点2＞
教職員の業務効率化を支える

- 校務支援システム及び学務システム、認証システム等の円滑な運用と効果的な活用
- 企業との連携による教職員研修の充実
- 学校ウェブサイト等の充実への支援
- 「かわさき GIGA スクール構想教職員向けハンドブック」^{※4}の活用推進
- ICT に関する学校訪問サポート



※4 教職員向けハンドブック（ステップ0・1、2、3掲載 web サイト二次元コード）

＜観点3＞
ネットワーク環境及び ICT 環境の最適化

- SAINS-WEB 等ネットワーク活用による情報発信の充実
- システムやネットワーク端末の最適化のための調整・検討
- 学校のコンピュータ・ネットワークの再構成・最適化検討
- 情報セキュリティポリシーの運用の検討・周知
- かわさき GIGA スクール構想実現に伴う個人情報等の扱いに関するポリシーの改定・運用の検討、研修
- 学校教育用 ICT の整備の在り方検討
- WEB 会議システム(Meet、Zoom 等)の有効利用

視聴覚センター事業の推進 その他

- 視聴覚ライブラリーの運営
- 「わが町かわさき映像創作展」の充実
- 平和・人権教育教材の整備



特別支援教育センター 事業・業務

特別な教育的ニーズのある子どもの相談や支援の充実

特別な教育的ニーズのある子どもやその保護者、学校への適切な相談と必要な支援を行います。



一般教育相談

学習面、行動面、対人面等についての教育相談を行っています。子ども一人一人の教育的ニーズについて考えていきます。

就学・入級・進学相談

学校・療育相談機関等と連携しながら本人・保護者の意向や専門家の意見を聞き、適切な学びの場を提案していきます。

就学相談フォローアップ

学校コンサルテーション

学校の支援教育に関する支援の充実

インクルーシブ教育システムの構築を理念に、各学校の「児童生徒を支援する力」をさらに支えるよう支援教育課と連携し、各事業を推進します。



通級指導教室への支援



小・中 特別支援学級への支援

小・中・高等学校への支援



特別支援学校への支援

校内支援体制づくりの支援

- 通級指導教室センター的機能担当による学校支援
- 特別支援学校地域支援部センター的機能担当による学校支援（計画巡回訪問支援・要請訪問支援）
- 指導主事による学校訪問
- 児童生徒の学びにつながる1人1台端末の活用促進

- 特別支援学級・特別支援学校担当者会
- 特別支援学級担任のためのハンドブックやサポートノートの活用促進
- 支援教育コーディネーター連絡会議
- 支援教育コーディネーター必携

特別支援教育に関わる研修の充実

校内研修として、指導主事等の派遣や講師紹介等、充実した校内研修の実現に向け学校を支援していきます。

必修研修

- 特別支援学級等新担任者研修
- 特別支援学級等新担任者2年目研修
- 支援教育コーディネーター研修
- 通級指導教室新担当者等研修
- 特別支援学校2年目研修



希望研修

- 特別支援教育Ⅰ「通常の学級での支援」
- 特別支援教育Ⅱ「特別支援学級・特別支援学校での支援」

第2期川崎市特別支援教育推進計画の計画的実施

インクルーシブ教育システムの構築や多様な学びの場の整備を進めたり、小・中・高等学校、特別支援学校における支援教育コーディネーターの取組を支援したりします。また、特別支援教育に関する基礎的知識や理念、関係法令等の理解を進めるとともに、多様な学びの場における教職員の専門性の向上に努めます。これまでの成果と課題についてふりかえりながら、第3期川崎市特別支援教育推進計画の作成を進めていきます。

特別支援教育に関わる研究の充実

長期研究員による研究

「特別支援学校・中学校特別支援学級・小学校特別支援学級における、個別最適な学び」を研究の軸におき、「令和の日本型学校教育」を特別支援の視点でどう構築していくかについて検証します。

研究推進校

昨年度より研究推進校において、聴覚障害の児童生徒を対象とした研究と、特別支援学級における指導の在り方について検討してきました。今年度も研究の成果を発信していきます。

教育相談センター 事業・業務

教育相談

電話相談 [対象：小・中・高校生]

○電話相談（教育一般）○子ども専用電話相談
○24時間子供SOS電話相談 ○メール相談
相談者の名前や学校名を尋ねることはありませんので気軽に相談できます。24時間いつでも相談できる「24時間子供SOS電話相談」や「メールでの教育相談」もあります。

来所面接相談 [対象：小・中・高校]

○溝口相談室・塚越相談室
心理臨床相談員との専門的な面接相談（予約制）です。令和6年度より原則、学校からの申し込みとなりました。利用を希望の方は学校へご相談ください。※当面は、電話での受付もいたします。

スクールカウンセラー配置 [対象：中学校・高等学校]

スクールカウンセラーを市立中学校と高等学校全校に配置（年間294時間、中学校大規模校と全日制と定時制設置の高等学校は年間420時間）し、いじめ、不登校等の未然防止・早期発見・早期解決に向け相談活動等を行います。

学校巡回カウンセラー派遣 [対象：小学校・特別支援学校]

月2回程度、計画的に学校巡回カウンセラーを派遣し、児童生徒・保護者との相談活動の他、支援教育コーディネーターと協力し、児童生徒の学校生活を支えます。

教育相談研修

教育相談の考えを生かしながら、児童生徒をより深く理解し、一人一人に寄り添った支援・指導をすることができる教員を養成するための研修を実施します。

- リクエスト研修
- 教育相談研修講座
- 支援教育コーディネーター研修

不登校児童生徒への支援

ゆうゆう広場 [対象：小・中学生]

○みゆき ○さいわい ○なかはら
○たかつ ○たま ○あさお
市内6か所にゆうゆう広場（教育支援センター）を設置し、心理的な理由や、様々な事情から学校に行けないもしくは行きにくい子ども達に、個別学習や小集団による体験活動等、その子に合った学びの機会を提供しています。

不登校家庭訪問相談 [対象：小・中学生]

学校に行けない、あるいはほとんど外出できない状態の子どもを対象に、家庭訪問相談員が家庭を訪問します。相談だけでなく、子どもと一緒に、遊んだり、学習したり、興味のあることに取り組んだりしながら、子どもが自分らしく生活できるように、一緒に考えていきます。

不登校対策連絡会議

不登校対策に関わる施設や関係機関との連携を強化し、不登校児童生徒への支援の充実を図ります。

不登校児童生徒・高校中退者のための不登校相談会・進路情報説明会

中学校卒業後の進路情報提供、個別相談及び不登校経験者によるパネルディスカッション等を行います。
【R6 9/21（土）高津市民館】

研究

学校以外の場における個別最適な学びについて研究を進め、アセスメント方法の整理や子どものニーズに合わせたプログラムの開発など行い、ゆうゆう広場等の活動に生かします。

- 長期研究員と研究員による研究
- 指導主事による研究

令和6年度 教育委員会研究推進校等一覧(4月1日現在)

総合教育センター		令和5・6年度 小学校各教科等		令和6・7年度 小学校各教科等		令和6年度 かわさきGIGAスクール 構想推進協力校	
研究教科等	学校名 (区)	研究教科等	学校名 (区)	研究教科等	学校名 (区)	研究教科等	学校名 (区)
国語	東高津小学校 (高津区)	国語	住吉小学校 (中原区)	国語	東高津中学校 (高津区)	国語	旭町小学校 (川崎区)
算数	稲田小学校 (多摩区)	社会	御幸小学校 (幸区)	社会	宮前平中学校 (宮前区)	社会	南河原小学校 (幸区)
生活・総合的な 学習の時間	鷺沼小学校 (宮前区)	生活・総合的な 学習の時間	大戸小学校 (中原区)	数学	中原中学校 (中原区)	生活・総合的な 学習の時間	西御幸小学校 (幸区)
音楽	梶ヶ谷小学校 (高津区)	令和6・7年度 中学校各教科等		理科	宮崎中学校 (宮前区)	音楽	高津小学校 (高津区)
家庭	木月小学校 (中原区)	研究教科等	学校名 (区)	音楽	生田中学校 (多摩区)	美術	南河原中学校 (幸区)
特別活動	王禅寺中央小学校 (麻生区)	国語	東高津中学校 (高津区)	美術	西生田中学校 (麻生区)	保健体育	日吉中学校 (幸区)
外国語活動・ 外国語	新作小学校 (高津区)	社会	宮前平中学校 (宮前区)	保健体育	宮前平中学校 (宮前区)	技術・家庭 (技術分野)	日吉中学校 (幸区)
令和5・6年度 教育課題		数学	中原中学校 (中原区)	技術・家庭 (家庭分野)	西高津中学校 (高津区)	技術・家庭 (家庭分野)	西高津中学校 (高津区)
研究教科等	学校名 (区)	理科	宮崎中学校 (宮前区)	外国語 (英語)	東橘中学校 (高津区)	外国語 (英語)	東橘中学校 (高津区)
SDGs	平間小学校 (中原区)	音楽	生田中学校 (多摩区)	道徳	川崎高等学校附属中学校 (川崎区)	道徳	川崎高等学校附属中学校 (川崎区)
かわさきGIGA スクール構想	小杉小学校 (中原区)	美術	西生田中学校 (麻生区)	総合的な 学習の時間	麻生中学校 (麻生区)	総合的な 学習の時間	麻生中学校 (麻生区)
高校教育	幸高等学校 (幸区)	保健体育	宮前平中学校 (宮前区)	特別活動	長沢中学校 (麻生区)	特別活動	長沢中学校 (麻生区)
特別支援 教育	壘学校 (中原区)	技術・家庭 (技術分野)	日吉中学校 (幸区)				
令和5・6年度 異校種間連携教育		技術・家庭 (家庭分野)	西高津中学校 (高津区)				
研究教科等	学校名 (区)	外国語 (英語)	東橘中学校 (高津区)				
異校種間連携 中高連携教育	川崎高等学校 川崎高等学校附属中学校 (川崎区)	道徳	川崎高等学校附属中学校 (川崎区)				
異校種間連携 高大連携教育	橘高等学校 (中原区)						

教育政策室		令和6年度 かわさき共生・共育プログ ラム研究協力校	
学校名 (区)	学校名 (区)	学校名 (区)	学校名 (区)
東小倉小学校 (幸区)	向小学校 (川崎区)	学校名 (区)	向小学校 (川崎区)
向丘小学校 (宮前区)	西御幸小学校 (幸区)	学校名 (区)	西御幸小学校 (幸区)
南大師中学校 (川崎区)	下河原小学校 (中原区)	学校名 (区)	下河原小学校 (中原区)
平中学校 (宮前区)	子母口小学校 (高津区)	学校名 (区)	子母口小学校 (高津区)
令和6・7年度 人権尊重教育(多文化共生教育)		学校名 (区)	有馬小学校 (宮前区)
学校名 (区)	東菅小学校 (多摩区)	学校名 (区)	東菅小学校 (多摩区)
子母口小学校 (高津区)	栗木台小学校 (麻生区)	学校名 (区)	栗木台小学校 (麻生区)
日吉中学校 (幸区)	渡田中学校 (川崎区)	学校名 (区)	渡田中学校 (川崎区)
川中島中学校 (川崎区)	南河原中学校 (幸区)	学校名 (区)	南河原中学校 (幸区)
人権尊重教育実践推進校		学校名 (区)	日吉中学校 (幸区)
学校名 (区)	南加瀬中学校 (幸区)	学校名 (区)	南加瀬中学校 (幸区)
さくら小学校 (川崎区)	宮内中学校 (中原区)	学校名 (区)	宮内中学校 (中原区)
桜本中学校 (川崎区)	橘中学校 (高津区)	学校名 (区)	橘中学校 (高津区)
		学校名 (区)	有馬中学校 (宮前区)
		学校名 (区)	南菅中学校 (多摩区)
		学校名 (区)	柿生中学校 (麻生区)
		学校名 (区)	高津高等学校(全日制) (高津区)
		学校名 (区)	高津高等学校(定時制) (高津区)

学校教育部	
令和6年度 学校防災教育	
学校名 (区)	学校名 (区)
戸手小学校 (幸区)	川崎高等学校附属中学校 (川崎区)
上作延小学校 (高津区)	井田中学校 (中原区)
西菅小学校 (多摩区)	高津高等学校 (高津区)
王禅寺中央小学校 (麻生区)	